

HTT033-08

会場:202

時間:5月25日 10:15-10:30

土地利用分類のオントロジー分析 - 「公共施設」を事例として - Ontology of Land use categories -a case study of "public facility"

花島 裕樹^{1*}

Yuki Hanashima^{1*}

¹ 筑波大学 大学院 生命環境科学研究科

¹University of Tsukuba

空間データの互換性は、利便性の高いデータ基盤を構築する上で、重要な要素である。近年、基盤整備の過程で、データの標準や作成規程が定められ、互換性の確保が図られているが、土地利用分類項目のような定量的な取り決めが困難な項目については、依然として互換性の問題が残っている。さらに、土地利用分類項目については、異なる言語体系間で意味的互換性 (semantic interoperability) を構築することは、重要な研究課題である。

意味的互換性において、オントロジー構築は、有効なアプローチとして知られている。そこで、本研究では標準的な土地利用分類の構築を目指し、日本語における「公共施設」の指し示す概念をアンケート調査によって分析した。ここで、「公共施設」を採用した理由には、その他の同レベルの分類項目 (例えば、商業施設、住宅など) と比べ、より概念が複雑であると考えられるからである。アンケート調査の内容は、下記の2種類であり、筑波大学の大学生、大学院生50名を対象として行った。

質問1 . 38の施設について、「公共施設」、「商業施設」、「住宅」、「その他」の4つに分類せよ。

質問2 「公共施設」、「商業施設」それぞれについて、含まれる施設を列挙せよ (自由記述)

質問1によって、公共施設と分類できる施設の縁辺部 (文脈によって、公共施設と分類されたり、されなかったりする) を明らかにし、質問2によって、代表的な公共施設に分類される施設を明らかにする。

キーワード: 土地利用分類, オントロジー, 概念定義

Keywords: land use category, ontology, concept definition